

世界知的所有権機関
国際事務局



PCT

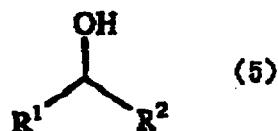
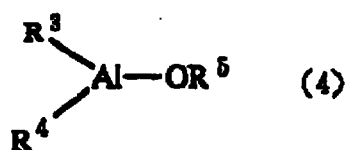
特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(51) 国際特許分類 C07B 41/02, C07C 29/143, 33/22, 213/00, 215/28, 271/10, 323/43 // C07M 7:00	A1	(11) 国際公開番号 WO97/28105 (43) 国際公開日 1997年8月7日(07.08.97)									
(21) 国際出願番号 PCT/JP97/00189 (22) 国際出願日 1997年1月29日(29.01.97) (30) 優先権データ <table border="0"> <tr> <td>特願平8/35632</td> <td>1996年1月29日(29.01.96)</td> <td>JP</td> </tr> <tr> <td>特願平8/37256</td> <td>1996年1月30日(30.01.96)</td> <td>JP</td> </tr> <tr> <td>特願平8/110317</td> <td>1996年4月4日(04.04.96)</td> <td>JP</td> </tr> </table> (71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 鐘淵化学工業株式会社(KANEKA CORPORATION)[JP/JP] 〒530 大阪府大阪市北区中之島三丁目2番4号 Osaka, (JP) (72) 発明者 ; および (75) 発明者 / 出願人 (米国についてののみ) 菅河忠志(SUGAWA, Tadashi)[JP/JP] 〒673 兵庫県明石市松の内2-7-402 Hyogo, (JP) 諸島 忠(MOROSHIMA, Tadashi)[JP/JP] 〒675-01 兵庫県加古川市別府町東町21-403 Hyogo, (JP) 井上健二(INOUE, Kenji)[JP/JP] 〒675 兵庫県加古川市加古川町栗津82-2-501 Hyogo, (JP) 菅 和憲(KAN, Kazumori)[JP/JP] 〒662 兵庫県西宮市清水町1-6 Hyogo, (JP)		特願平8/35632	1996年1月29日(29.01.96)	JP	特願平8/37256	1996年1月30日(30.01.96)	JP	特願平8/110317	1996年4月4日(04.04.96)	JP	(74) 代理人 弁理士 安富康男, 外(YASUTOMI, Yasuo et al.) 〒532 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目14番22号 リクルート新大阪ビル4階 Osaka, (JP) (81) 指定国 CA, CN, HU, JP, KR, SG, US, 欧州特許 (AT, BE, CH, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE). 添付公開書類 国際調査報告書 請求の範囲の補正の期限前であり、補正書受領の際には再公開される。
特願平8/35632	1996年1月29日(29.01.96)	JP									
特願平8/37256	1996年1月30日(30.01.96)	JP									
特願平8/110317	1996年4月4日(04.04.96)	JP									
(54)Title: PROCESSES FOR THE REDUCTION OF CARBONYL COMPOUNDS (54)発明の名称 カルボニル化合物の還元方法 (57) Abstract Processes for reducing carbonyl compounds into hydroxyl compounds easily under milder conditions, particularly a process for reducing an α-aminohaloketone derivative stereoselectively. The above process comprises treating a carbonyl compound of general formula (1) with an organoaluminum compound of general formula (4) to form an alcohol of general formula (5). $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{R}^1 - \text{C} - \text{R}^2 \end{array} \quad (1)$ $\begin{array}{c} \text{R}^3 \\ \diagdown \\ \text{Al} - \text{OR}^5 \\ \diagup \\ \text{R}^4 \end{array} \quad (4)$ $\begin{array}{c} \text{OH} \\ \\ \text{R}^1 - \text{C} - \text{R}^2 \end{array} \quad (5)$											

(57) 要約

本発明は、容易に、より穏和な条件で、カルボニル化合物をヒドロキシ化合物に還元する方法、特に、 α -アミノハロケトン誘導体を立体選択的に還元する方法を提供することを目的とする。

本発明は、下記一般式(1)で表されるカルボニル化合物に、下記一般式(4)で表される有機アルミニウム化合物を作用させて、下記一般式(5)で表されるアルコール化合物を得るカルボニル化合物の還元方法である。



情報としての用途のみ

PCTに基づいて公開される国際出願をパンフレット第一頁にPCT加盟国を同定するために使用されるコード

AL	アルバニア	EE	エストニア	LR	リベリア	RU	ロシア連邦
AM	アルメニア	ES	スペイン	LS	レソト	RS	セルビア
AT	オーストリア	FI	フィンランド	LT	リトアニア	SE	スウェーデン
AU	オーストラリア	FR	フランス	LU	ルクセンブルグ	SG	シンガポール
AZ	アゼルバイジャン	GB	イギリス	LV	ラトヴィア	SI	スロベニア
BB	バハマ	GE	グルジア	MC	モナコ	SK	スロバキア
BE	ベルギー	GH	ガーナ	MD	モルドバ	SS	スウェーデン
BG	ブルガリア	GN	ギニア	MG	マダガスカル	TD	チャド
BJ	ベナン	GR	ギリシャ	MK	マケドニア	IG	イタリヤ
BM	バハマ	HU	ハンガリー	UA	ウクライナ	TM	トルクメニスタン
BN	ブルネイ	IE	アイルランド	ML	マリ	TR	トルコ
BO	ボリビア	IS	アイスランド	MN	モンゴル	TT	トリニダード・トバゴ
BR	ブラジル	IT	イタリア	MR	モーリタニア	US	アメリカ合衆国
CA	カナダ	JP	日本	MW	モザンビーク	UG	ウガンダ
CC	ココス(キリング)諸島	KE	ケニア	MX	メキシコ	UN	ユニオン
CD	コンゴ民主共和国	KG	キルギスタン	NE	ニジェール	UZ	ウズベキスタン
CF	中央アフリカ共和国	KR	大韓民国	NL	オランダ	VN	ベトナム
CG	コンゴ共和国	KZ	カザフスタン	NZ	ニュージーランド	YU	ユーゴスラビア
CH	スイス	LI	リヒテンシュタイン	PT	ポルトガル		
CI	コート・ジボワール	LK	スリランカ	RO	ルーマニア		
CM	カメルーン						
CN	中国						
CO	コロンビア						
CR	コスタリカ						
CZ	チェコ共和国						
DE	ドイツ						
DK	デンマーク						